


千郷 地域意見交換会

地域	番号	テーマ	参加者からの意見、提言内容	回答等
千郷	1	まちづくりについて	元気で安全な千郷地域のまち作りを進めるため、行動力などバイタリティーのある若者のリーダーの起用(一定の報酬も必要だと考えるが・・・)が必要と考えます。	「まちづくり」を進めて行くうえで、若者の存在は必要不可欠であると強く認識しています。本市では、全国に先駆け「新城市若者議会条例」をスタートし、若者をとりまく様々な問題を考え、話し合うとともに、若者の力を活かす「まちづくり政策」を検討し、市長に答申する「新城市若者議会」に平成27年度から取り組んでいます。現在は第7期生のメンバーを募集しているところであり、今後も若者のまちづくりへの積極的な参画を促すため、若者が活躍出来る居場所づくりも含め様々な取組みを推進していくこととしています。また、その中でリーダーシップのある若者の人材発掘等もあわせて行っており、そうした人材が今後地域で力を発揮し中心となってまちづくりをけん引していただけることに繋がるように更に推進を図って行く事としています。 貴地域自治区では地域住民の皆さんにより地域課題の抽出から、それらを解決するための提案や方針、また目指すべき地域の将来像に至るまで協議検討がなされ、令和元年度に策定されました地域計画に沿って、地域課題解決に向けた様々な事業が展開されています。その際、各種事業を円滑に推進するため、地域によってまちづくりに関する活動組織や団体等が新たに設立されており、そうした組織や団体には地域の若者や子育て世代の女性が構成員等として参加されているほか、そうした組織団体が主体となり実施する活動に対し、千郷中学校の有志生徒によるボランティア活動で活動に参加していただくなど、若者との接点を持ち、若者の役員起用や事業提案など活躍出来る仕組みづくりを積極的に取り入れ、まちづくりを進める方針としています。 今後、更にこうしたことは必要になると考えられるため、今まで以上に若者の参画につきまして、地域の皆様のご協力をいただきながら理想を実現できるよう推進を図ってまいりますので、今後ともご理解とご協力をよろしく願います。(企画部長)
千郷	2	まちづくりについて	コロナ感染対策も場当たりの対応をしているだけでは、長期的な視点に立った体制を整えることはできない。まちづくりも目先の対応では、とても魅力のあるものにはならない。10年後15年後の中期的ビジョンを掲げ、若者の活躍に期待をかける市の取組みは評価でき、予算が少ない中頑張っていると思う。考えたいのは50年後100年後先の新城市を見据えたまちづくり。151号線(バイパス)は市にとって大動脈。川田から豊川への道路の出来るだけ早く完成させ、さらにそこに通づる周辺道路の整備をし、国道151号線を中心とした新しいまちづくりを進めたい。具体的には、平井地域、城北・杉山地域、稲木地域など、中心に公共施設、商業施設、レジャー施設、高低を生かした公園などを整備していく。自然災害が心配される地域の方には、この周辺の宅地を提供し、住居地域のコンパクト化を進める。この地域の良さの一つは、自然災害の危険が少ない事だと思う。県道21号線(国道301号線以東)が整備されると、新しいまちづくりを後押しすると思う。	市では平成30年度に第2次新城市総合計画を策定し、令和12年度までのまちづくりの基本構想を策定しています。その中で今後の土地利用構想の重点的な取り組みとして、①定住の選択肢となる暮らしの場の整備・確保、②地域コミュニティの維持・活性化と地域拠点機能の充実、③市街地等の魅力の向上、賑わいの創出を掲げています。具体的には、市の中心核となる新城地区の国道151号と都市計画道路的場線沿いの市街地形成地域を市の中心核として位置づけ、道路網等の社会基盤整備を積極的に推進し、商業施設の誘致、医療・福祉サービスの提供など、経済機能、医療・福祉機能、行政機能の一体的整備を考えていきます。また、地域住民の日常生活圏や均衡ある地域づくりに配慮しながら、公共施設等の適正配置や都市機能のコンパクト化も視野に入れた土地利用を進めてまいります。 なお、施設整備には膨大な予算を要しますが、明るい未来のためには必要なことと考えています。今は、コロナ禍の中、感染症対策の費用に全力を挙げているところです。コロナ終息後には、まちづくりのグランドデザインを考え直すことも必要になってくると考えていますので、ご意見を参考にさせていただきます。(企画部長)
千郷	3	まちづくりについて	新型コロナウイルス渦に打ち勝つ中山間地域の住み良い場所づくりを進めると良いと考える。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から今年度は多くの行事が中止となり、地域の活動も制約を受けられていたと思います。また、人との接触をできるだけ避けるため、WEB会議や書面議決など会議の在り方も変わってきました。今後実施されるワクチン接種により、行動制限等が緩和されることも考えられますが、今現在の状況では3密を避けるなど皆様のご協力をいただきながらの地域活動が続くことと思われまます。 令和3年度からは総合計画の中期計画の策定準備を進めてまいりますので、withコロナ、アフターコロナを見据えた計画づくりを考えてまいります。特にwithコロナ時代については、地方移住や二地域居住など新たな生活スタイルを選択する人が出てきました。今あるものや取組にさらに磨きをかけ、魅力あるまちを目指さなければならぬと考えています。(企画部長)
千郷	4	公共交通について	高齢者の自動車運転事故が多くなってきている。そこで自動車運転をしなくても、新城市内の移動ぐらいなら好きな時間に好きな場所へ移動できる交通システムを作って下さい。	市内の高齢化率が上昇し続けていることから、自ら車を運転することなく生活ができる環境を整備していく必要があると認識しています。しかしながら、現状の路線網では、地域によって不便が生じていることもあると思われますので、具体的な不便さの内容の把握や潜在的ニーズ量の把握などの調査が不可欠であると考えています。そのため、千郷地区全体の課題として私ども行政(公共交通対策室・福祉課・高齢者支援課・教育委員会・自治振興課など)と検討する場を設けていただくことをお願いしたいと思ひます。(総務部長)
千郷	5	公共交通について	千郷地域住民の将来の地域の足(移動手段)について。特にお年寄りの移動手段として今後益々増加するであろう高齢化社会に対応するため、今から体制整備等を進め将来に備えるべきであると考えます。	自動車が運転できなくなっても、安心して住み続けられるよう、将来にわたり幅広い世代の方が利用しやすい公共交通網を形成していくため、令和3年度に地域公共交通計画を策定する予定です。 地域の特性や住民のニーズに対応した公共交通の将来像を構築するため、地域の皆さんの声を広く丁寧に拾い集めていきたいと考えておりますので、是非一緒に検討していただければと思います。(総務部長)
千郷	6	安全・安心なまちづくりについて	安全・安心なまちづくり(交通安全・防犯対策)について、現状の事業推進実施状況及び今後の事業推進計画を知りたい。	交通安全・防犯対策に関わる主な事業として、 ・地域安全灯、防犯カメラを整備する行政区に対し、整備経費の一部補助 ・小学校新1年生に対して防犯ブザーの支給、小学生全員にランドセルカバー、中学1年生に自転車の反射材の配付 ・高齢者の運転免許自主返納支援事業の実施 ・高齢者のアクセルとブレーキの踏み間違いによる急発進を抑制する装置の設置経費の一部補助 ・自転車乗車用ヘルメットの購入経費の一部補助(令和3年度から実施予定) ・「交通安全県民運動」や「安全なまちづくり県民運動」にあわせた街頭啓発などを実施しています。今後もこれらの事業の継続、見直しを行い、安全・安心なまちづくりを推進していきます。(総務部長)

千郷 地域意見交換会

地域	番号	テーマ	参加者からの意見、提言内容	回答等
千郷	7	避難所について	西部地区は災害避難箇所が、ちさと館が指定となっていますが、建築物の耐震性は確保されていますか？	耐震性は確保されています。(総務部長)
千郷	8	避難所について	大規模自然災害時における新型コロナウイルス感染症感染対策として、一時避難場所や市指定避難場所への備品整備計画について、市の方針や考え方また具体的な整備状況や計画が知りたい。	コロナ禍における避難所運営のための「避難所における新型コロナウイルス感染拡大防止のための対処方針」を定め、コロナ禍において整備すべき資機材と避難所の運営について記載をしています。整備した資機材ですが、手指消毒液、マスク、体温計、ウエットタオル、ティッシュ滅菌用消毒液、ゴム手袋、防護服、フェイスシールド、段ボールベッド、エアーマット、簡易ベッド、防災ルーム、蓋付きゴミ箱などを整備しています。(総務部長)
千郷	9	住環境の整備について	町全体(千郷地域はもちろん新城市全体)が暗い(外灯)ので、もっと明るくしてはどうか。東京や大阪な大都市と同等とまでは言わないが、もう少し地域内を明るく照らすことにより、夜の犯罪の抑止効果や夜の外出も安心感が増すのではと考える。	防犯灯については各行政区での設置及び管理をお願いしております。新規の設置及びLED灯への更新については平成26年度から補助事業を実施しておりますが、整備状況を考慮し今後数年以内に廃止することも検討していますので、各行政区においては計画的な整備をお願いします。(総務部長)
千郷	10	住環境の整備について	千郷地域自治区内に散歩コースの整備とこれに伴う木陰やベンチの設置を推進してはどうか。お年寄りの寝たきり防止や、またベビーカーでの散歩に配慮した安全で安心なコース整備することにより魅力あるまちづくりの一つとして提案したい。	木陰やベンチを設置する場合、ある程度の土地が必要となりますが、道路や公園などの公有地ですと様々な制約があります。そこで、先進的な取り組みをみますと、地域の方が空き地や空き家を活用してポケットパーク等を整備し、地域のコミュニケーションの場として活用している事例があります。ポケットパークや公民館、神社など地元が管理する施設を散歩コースに取り入れることで、地域住民が主体の整備が可能となり、地域住民のニーズに沿った親しみのある散歩コースになるのではないかと考えます。また、地域自治体制度により地域住民の合意形成が得られるのであれば、地域活動交付金による財政支援を受けることができるのではないかと考えます。なお、市道や都市公園にベンチを設置したいとお考えの場合は建設部にご相談ください。(建設部長)
千郷	11	住環境の整備について	人生100年時代、少子高齢化が加速し、個人差はあるものの健康年齢も一層上昇していくと思われれます。高齢の方々も元気で活躍されている方が多く見受けられ、政府も将来的に健康な方は70歳まで働く事を推奨することを新聞紙上等で見られます。このようなことを踏まえ、私自身も健康維持と地域とのコミュニケーションを図るべく、可能な限りウォーキングに努めています。その際年齢を問わず多くの方に出会います。よって、千郷地域内にベンチの設置を望みます。例えば、新城の木材で丸太を活用したコストのかからないものを利用し、設置可能場所の選定としてウォーキングなど利用者が多い場所に設置する。さらに、高齢者のみのためではなく、設置したベンチを利用する住民どおしがコミュニケーションが図られ、同時に地域の子供達の見守りに繋がる取組みにも発展できると考えます。	同上
千郷	12	駐車場設置について	JR野田城駅から、あまり遠くないところに駐車場の設置が必要では無いか。設置することにより「パーク&ライド」の推進が図られると考える。	第2次新城市都市計画マスタープランでは、中心市街地に位置する新城駅や東新町駅の周辺における駐車場整備の検討を掲げています。一方、野田城駅は飛び市街地に位置する駅ですが、新城駅と同等の運行本数がある上、駅の利用者数が増加傾向にある駅ですので、都市計画マスタープランの見直しの際に検討したいと考えています。(建設部長)
千郷	13	駐車場設置について	JR野田城駅のパーク&ライドの推進を期待します。	同上
千郷	14	駐車場設置について	子供が遊べる大きめの公園が大野田の北公園と南公園しかないようで、川田や杉山の方からも来ているようです。(小学生だけでなく、こども園入園前のお子さんも)ただ駐車場がないため路上駐車して公園を使用するため、近所の方に迷惑がかかっているという話を聞いたことがあります。もし今後公園をさつくる案が出た際、または計画が既にある場合には、あわせて駐車場も作っていただけたらと思います。	市が管理する公園の多くが土地区画整理事業や住宅団地開発の際に開発事業者が整備したものです。そのため、公園利用の対象者を開発地区内の住民としており、住宅から公園への移動は徒歩を想定していることから、基本的に駐車場を設置していません。今後、市が公園を整備する際には、公園利用者の対象範囲や交通事情も考慮した整備計画を検討したいと考えています。(建設部長)
千郷	15	休耕地活用について	休耕地を利用して新城市の特産品を作るシステムを、やる気の有る人を募って作って下さい。ただ、最低の収入保証はするという条件。	現在、市の特産品である夏秋トマト、いちご、ほうれんそうで新規就農を希望する方を市内外や県外より広く募集しています。就農するために必要な土地の紹介や栽培技術研修などの支援を行っています。休耕地がそのような作物の栽培に適していれば活用することも可能かと思われます。国の制度で、新規就農者には農業次世代人材投資資金(経営開始型)というものがあり、最低の収入保証ではありませんが、経営が安定する間(経営開始から5年間)、資金が交付されるもので、ほとんどの新規就農者は活用していますのでその手続き申請に対しても支援しています。また、耕作を希望する農業者へ斡旋することも行っております。(産業振興部長)
千郷	16	高齢者支援について	現在の超高齢化の昨今及び今後の喫緊の課題として、高齢者は増加していく一方で近隣住民との関係が希薄化していることに伴い、このような状況の中高齢者の支援と見守りを市として今後どのように対応していくことを考えているのかお聞きしたい。近隣住民との関係が希薄化を特に問題にしておられますが、高齢者の支援と見守りという点が大きな目標になっていると思っています。	高齢者支援の中でまさに見守りを含む生活支援が大きな課題となっています。生活支援の食事や買い物、ごみ出しなどの日常的な困りごとに対するものは、市がある程度整備することが可能ですが、日常の中での見守りは市だけでは難しいため、協力いただける新聞店や郵便局などの事業所や警察、保健所、社会福祉協議会などを含めた見守りネットワークを築いています。今後もこのネットワークを強化していきたいと考えています。(健康福祉部長)

千郷 地域意見交換会

地域	番号	テーマ	参加者からの意見、提言内容	回答等
千郷	17	高齢者支援について	<p>今、「自助」・「共助」・「公助」と言われますが、自助の啓発・共助の育成・自助、共助との連携・公助と共助の連携、指導・そして公助の自助への周知及び支援等について、市の目標や指導、市民レベル(普段の生活の中の)サポートや連携・そしてOrganizeされた施策を表明され周知されますことが大切であると考えております。参考に新聞の投稿「くらしの作文」が少しの示唆を与えているような気がしますのでご一読ください。</p> 	<p>新聞記事の見守り隊は自助と互助の素晴らしい連携だと思います。市では上記(No.16)のように生活支援や見守りネットワークを実施していますが、まだ周知が十分ではないと考えています。本年度、高齢者支援課では、来年度から3年間の計画を策定していますが、この計画を実践していくには計画の周知と地域の方の協力が不可欠です。各地区の地域計画と共通した目標も多いため、今後は地域協議会の皆様にも一緒に考えていただく機会を増やしていきたいと考えています。(健康福祉部長)</p>
千郷	18	こども園建て替えについて	千郷中こども園の建て替え問題について、現状の進捗を教えてください。	千郷中こども園の建て替え事業につきましては、これまで市が移転案について議会や千郷地区連絡協議会に説明し理解を求めたところであり、千郷地区連絡協議会からの意見を受けて事業を検討することとしておりますが、現在のところ意見をいただけていない状況にあります。(健康福祉部長)
千郷	19	子育てについて	千郷地域の子どもの教育や環境について	千郷小学校と千郷中学校は、市内最大規模で、市内全体の3割近くの小中学生が在籍しています。千郷地区に1小学校1中学校であること、両校が隣接していること、同じ校訓「力一杯」であることを生かし、教育活動において小学校と中学校が連携を図り、義務教育9年間を通し子どもたちの健全な成長を目指しています。(教育部長)
千郷	20	給食センターについて	今後、新城市においても就学児童数が減少していくのですが、給食センターの建設計画をしていると聞きます。児童、生徒に心のもった暖かい給食を提供するためには、センターでないことのほうが良いと思います。建設、施設整備にお金を使うより今、各学校にある設備を更新するのが良いと思う。	現在、学校給食現場では、給食調理員の安定的な確保が難しくなっていることや、地元商店の減少などにより食材調達が困難になってきている地域があること、給食施設の老朽化などの課題があり、これらを解決するために共同調理場の計画を進めています。共同調理場においても安心でおいしい給食を提供できるようにしていきます。(教育部長)
千郷	21	新型コロナウイルス感染症について	コロナ禍において本市においても、感染陽性者が日を追って出ている状況ですが、市長の放送もよく聞きます。感染経路について公表しないのは、わからないからですか？	感染者の状況は、保健所を所管する愛知県しかわからないのが実情です。感染経路についても愛知県から情報が入りませんので発表できないというのが現状です。ご理解の程よろしく申し上げます。(企画部長)